

どのようなシステムか

”ワンパフ”は使用されるマスクに応じて機能する制御されたシステムです。吸引マスクAは動物の呼吸気管から安全に粘液を取り除くために真空吸引を行い、蘇生マスクBは呼吸反応を刺激するため少しの空気を送り込むために設計されました。

”ワンパフ”はマスクを通じて、5～10mlの空気を送り込むことをテストしております。
新生児の仔犬、仔猫、そのほかの小さな動物にとって安全であることが証明された空気量です。



吸引

”ワンパフ”の使用方法

”ワンパフ”を使用する前に家庭用洗剤を20倍に薄めたもので洗浄し、完全に乾かして下さい。

吸引する場合

- 吸引マスクをテストするために、Aと記入されているマスクのシリンダーを最後まで押し、吸い上げている間、わずかな真空が発生することを試して下さい。
- もし動物が誕生後、息をしていなければ、水平より45°から90°の角度で頭を下向きにし、動物をやさしく保持して下さい。
- 鼻口部に覆いかぶさるようにして確実にマスクを当て、鼻口部が空気を受ける適切な位置であることを確認して下さい。マスクを適切な位置で保持し、粘液を吸引するために一度シリンダーを押して下さい。
- 胃の前から前足の後ろにかけての裏側胸部のあたりを優しくマッサージして下さい。呼吸反応を確認して下さい。もし呼吸をしていなかったら、蘇生の手順を進めて下さい。

蘇生する場合

- 蘇生マスクをテストするために、Bと記入されているマスクのシリンダーを最後まで押し、その間、わずかな空気が出ていることを試して下さい。
- 鼻口部に覆いかぶさるようにして確実にマスクを当て、鼻口部が空気を受ける適切な位置であることを確認して下さい。
- シリンダーを一度押し、マスクを取り外し、胸を優しくマッサージすることを続けて下さい。呼吸開始確認のために数分様子を見てください。
- もし呼吸反応が確認できなかった場合、蘇生過程を繰り返し行って下さい。

※新生児に有害な影響を及ぼす可能性があるため、連続してポンプを動かさないで下さい。

呼吸開始の刺激のためには一回だけもしくは二回の空気の送り込みが必要です。

”ワンパフ”キット

- キャリーケース
- 吸引器とマスクA
- 蘇生器とマスクB
- 説明書

株式会社野澤組畜産部

本社畜産部 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-5-2(東宝日比谷プロムナードビル) 電話:03-3528-8107 FAX:03-3528-8126

北海道営業本部 〒080-0048 北海道帯広市西18条北1-1-2 電話:0155-67-5025 FAX:0155-67-6207

九州営業所 〒862-0954 熊本県熊本市中央区神水2-10-7(光永ビル403号) 電話:096-381-3914 FAX:096-381-3841

仙台営業所 〒980-0002 宮城県仙台市青葉区福沢町3-37(蝉林館103号) 電話:022-397-9781 FAX:022-397-9782

E-mail: livestock-2@nosawa.co.jp



通販サイトはこちら